

神戸医療生協支援ニュース

2011年7月5日 第32号



7.2原発ゼロ緊急行動に8名が参加2 万人のアツイ！集会でした！

朝7時45分に集合し、日帰りの行動でしたが、各事業所から8名が参加し、明治公園は2万人の参加者で溢れていました。今回の集会は様々な団体の共闘で開催されており、教員や労働組合等数えきれない団体からの参加がありました。しかし、このニュースを取り上げたメディアは一つだけ……なぜ？何でしょうね。原発廃止の署名は7月末目標で10,000筆です。ぜひ！各職場での取り組みをお願いします。

『大災害にいかに立ち向かうか』

7月3日（日）13時20分～ 新長田勤労市民センター大会議室

講演：室崎 益輝氏（関西学院大学教授・日本災害復興学会会長）

報告：東日本大震災支援活動報告

主催：兵庫革新懇

が必然である！等など現地に何度も足を運ばれての講義でしたので、頭にすっ～と入ってきました。又、こうした問題は原発だけ、震災支援だけを見がちだが、大きく捉えて、政治を変えて行く事の重要性も語られました。

7月3日に開催された、革新懇の公開講座は、120名の参加でした。神戸医療生協からは、堤が参加し（理事長も参加していました）震災の支援報告を行いました。室崎教授の講演は非常にリアリティ溢れる内容でした。なぜ？大学生がボランティアに行かないのか？や街の復興は高台ではなく、今の低地での復興



7月2日 みやぎ支援行動に5名が参加しました。石川・木村医師、板崎専務、斎藤次長、南看護師の5名が、医学生11名と共に、みやぎ県南への支援行動に参加しました。全体では60名を超える支援行動になり、バス3台での行動でした。神戸の5名は、仮設住宅チームと泥出しチームに分かれて、支援行動を実施。仮設住宅へは、西神南支部が作成した、折り紙や激励メッセージ等も届けられました。バスで車中2泊と言う強行軍でしたが、皆さん元気に帰ってきました！

